

内外装石材・タイル用弾性接着剤

# カケン外エポ

主剤 (A) 10kg 硬化剤 (B) 10kg



用途

建築石材、タイル用の接着剤

特長

- 1 弾性タイプで下地の振動、衝撃などの外力を吸収して優れた接着性を示します。
- 2 有機溶剤を含有していませんので肉痩せがほとんどなく溶剤中毒の問題がありません。
- 3 硬化物は白色系ですので、施工後目だちにくいです。
- 4 混合状態が目で確認できます。

## 性状

項目	カケン外工ボ	
	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
外観	淡いオレンジ色パテ状	淡い緑色パテ状
	白色系パテ状	
配合比(重量比)	100	100
可使用時間	約60分(23℃)	
硬化時間	約7日間(23℃)	

## 物性

項目	引張強さ	伸び率
標準状態	5.2MPa	38%
熱劣化	6.7MPa	26%
アルカリ浸漬	3.1MPa	64%

硬化条件：23℃×24時間+40℃×16時間  
 熱劣化：80℃×14日間  
 アルカリ温水：60℃水酸化カルシウム飽和水溶液に7日間放置

## 接着性

項目	接着強度	被着体 モルタル/石材 試験方法
標準状態	1.7MPa	放置後のテストピースを、23℃の恒温室にてオートグラフを用いて単軸接着強度を測定して、単位面積当りの接着強度を求めた。
熱劣化	1.7MPa	
アルカリ温水	1.3MPa	

放置条件  
 標準：23℃×24時間+40℃×16時間  
 熱劣化：80℃×14日間放置  
 アルカリ温水：60℃水酸化カルシウム飽和水溶液に7日間放置

## 容量

20kgセット〈主剤10kg 硬化剤10kg〉

## 使用方法

- ①主剤(A剤)1,硬化剤(B剤)1の割合で取り出し、色が均一になるまでよく混ぜ合わせます。
- ②接着剤を石材表面に15~20cm間隔で点付けします。
- ③石材は最下部から下地に押しつけるように張ります。
- ④2段目からは目地スパンサーを利用して目地調整をしながら張り付けます。
- ⑤24時間以上養生をした後目地詰めを行います。
- ⑥スパンにエキスパンジョイントを設けます。また取り合い部はシーラント処理をします。

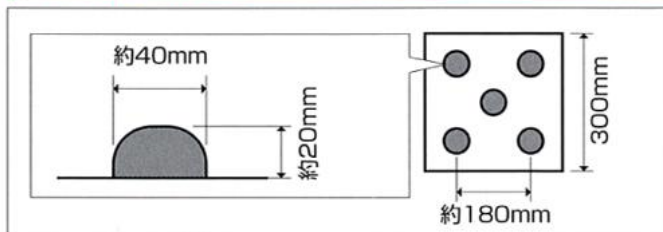
## 標準使用量

点付け(1点約30g)	1.2~2.0kg/m <sup>2</sup>
	10.0~16.6m <sup>2</sup> /20kg

## 接着剤の塗布

接着剤をヘラなどを用いて石材の裏面に点付けします。点付けする大きさは、直径40mm高さ20mm程度(約30g)とします。

## 塗布位置例



## 使用上の注意

- ①外装2階部分以上又は、300角×15mm厚以上の石材施工に使用する場合には、金物等を併用して下さい。
- ②下地のゴミ、ホコリ、油等は良く清掃して下さい。
- ③主剤及び硬化剤を重量比で1:1になるように計量し、全体の色が均一になるまで充分に攪拌して下さい。
- ④目地詰めを行う場合は、張り付け後、1日以上養生し接着剤が硬化してから行って下さい。
- ⑤硬化するまで振動が加わらないようにして下さい。
- ⑥使用後は蓋をしっかり密閉して保管して下さい。

### ●取扱い上の注意

- 作業場所は局所又は全体換気をしてください。
- 開封時や取扱中こぼさないよう注意してください。
- 取扱中は皮膚に触れない様にし、保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、前掛け等を着用してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分行ってください。

### ●保管上の注意

- 容器を密封し、湿気、直射日光をさけて保管ください。
- 熱源や火気に近づけないでください。

### ●廃棄上の注意

- 下水道等に排出されないようにしてください。
- 廃棄する場合には産業廃棄物として処理してください。

### ●応急処置

- 作業衣に付着した場合には、皮膚に触れないように作業衣を着替えてください。
- 皮膚に付着した場合には多量の石鹸水で洗い落とし、痛みや変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には多量の水で洗い、速やかに医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には無理にはかせずに、直ちに医師の診察を受けてください。
- 初期消火には炭酸ガス、泡または粉末消火器が有効です。